



発行日 平成30年3月3日
 発行者 特定非営利活動法人
 新潟県消費者協会
 事務局 〒950-0994
 新潟市中央区上所2丁目2番2号
 新潟ユニゾンプラザ1階
 TEL・FAX (025) 281-5558

E-mail n-shokyo@happytown.ocn.ne.jp URL http://www.nsyokyo.org/

●カラピナとは…… 登山に使われる金属製の輪です。カラピナが登山のロープをしっかり繋ぎ、支えるように、この消費者情報が必要な情報を消費者に、消費者の声を事業者・行政に繋ぐ役目を果たすようにと名付けました。

一各団体会員の食品ロス削減への取り組み一

佐渡市消費者協会

食品ロス削減を呼びかける
 コースター（両面刷）を作製・配布



島外へも発信しようと旅館や飲食店等に配付

村上市消費者協会

地元高校生が考案した
 村上茶の茶殻活用料理の実習



「お茶っパエリア」「茶がらババロア」など3品を調理

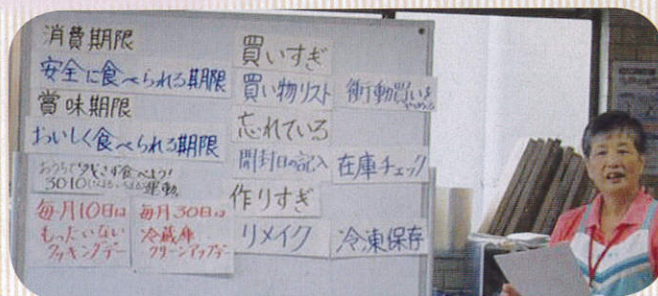
刻んだ茶殻、栄養たっぷり

新潟市消費者協会

食品期限表示の活用法や、無駄のない食品の利用法の講座を実施



日持ちのしない食品を使い切る工夫料理
 (左からカッターチーズ、炒り豆腐、寄せ豆腐、納豆ジャン、きゅうりの佃煮)



- NEWS 平成29年度事業報告（協会事業・受託事業）…………… 2P
- 「新潟県における高齢者等見守りネットワーク構築の取組」新潟県消費者行政課
 「3R推進キャンペーン県民フォーラム2017」報告 会長 長谷川かよ子…………… 3P
- 私が見た海外の家庭生活「ホームステイ イン カナダ」…………… 4P
 郷土の正月料理を一冊に（小千谷市消費者協会）
- エシカル消費って何？…………… 5P
 消費者トラブルキーワード「失敗しないスマホ選び」
- 地区だより「食品ロス削減への取り組み」…………… 6・7P
 作ってみませんか！「ベジプロスで野菜くずを使い切り健康になりませんか」
- 現場を見せて！「新潟県電機商業組合」…………… 8P

< 協会事業 >

中越地区講演会「スーパー発酵食品のお話」

10/25 (水) まちなかキャンパス長岡
講師：新潟県醸造試験場長 金桶光起 氏

日本で公立唯一の醸造試験場。長年培われた発酵の技術を活かして開発した、酒粕をさらに乳酸発酵させた新しい発酵食品の特徴や効能についてお話いただきました。(参加 64 人)

クリーニング懇談会「クリーニングのプロに学ぶ衣類のお手入れ」

2/1 (木) 新潟ユニゾンプラザ
講師：新潟県クリーニング生活衛生同業組合副理事長 大越幸一 氏

クリーニング店のプロの技に驚き、家庭の洗濯ですぐに役立つ洗剤選びや適した使用方法などを学びました。(参加 20 人)



2/7 男の料理教室
講師の調理実演をじっと見る参加者

男の生きがい探し～達人から学ぶ 3 回連続講座～

第 1 回 達人が教える男の料理教室 2/7 (水) 新潟ユニゾンプラザ
第 2 回 今さら聞けないネットの知識 2/14 (水) 万代市民会館
第 3 回 一つのきっかけが、人生を豊かに 2/21 (水) 万代市民会館

退職後の人生を豊かに過すきっかけづくりを目的に、県消費者協会ですべて男性限定の消費生活講座を企画しました。第 1 回の料理教室は、普段料理をしないという参加者も多い中、講師から簡単に作れるポイントを教えてもらい、グループごとに協力しながら海鮮あんかけ焼きそばなど 4 品を作りました。参加者からは、凝った料理が作れて嬉しい、家でも作りたいと大好評でした。

< 受託事業 >



1/20 三流亭楽々氏の落語

< 対象者層に応じた地域での消費生活講座 >

聞いて安心! ネットのトラブル講座 11/11 (土) 新発田市ボランティアセンター
講師：(株)サイバー・グリット・ジャパン 落合博幸 氏

「スマホ」の普及で増えている、SNS やネット通販等でのインターネットトラブルについて、実際の事例やスマホの画面を見ながらの説明がとてわかりやすい講座でした。参加者も身近な問題と危機意識を感じて受講していました。(参加 39 人)

落語で学ぼう! だましの手口 1/20 (土) 三条東公民館

講師：三条市なんでも相談室/三条市地域包括支援センター嵐北/三流亭楽々 氏

三条市のなんでも相談室の紹介や相談状況、包括支援センターの活動等の話の後、特殊詐欺の被害防止の注意点や対処法等を楽しい落語で聞きました。笑いだけでなく、真剣に耳を傾ける場面もあり、元警察官の体験を踏まえたお話は大変参考になりました。(参加 75 人)

< 消費生活啓発講座コーディネート事業 >

平成 29 年度は、県内約 120 ケ所に消費生活サポーターを派遣、約 4,400 人の県民が受講される予定です。

また、自治体事業としての講師派遣も始まり、自治体とサポーターとの連携ができ、地域で更なる活躍の場が広がることが期待されます。

< 消費生活サポーター啓発機会拡充事業 >

特別支援学校向け啓発講座学習会 11/16 (木) 新潟ユニゾンプラザ
講師：江南高等特別支援学校/全国消費生活相談員協会

最初に特別支援学校の特色、学習内容や授業で心掛けていることを伺いました。実践編は、講座を行う上での事前準備、講座の組立て方、効果的な教材の使い方について学び、グループワークで実際に講座を企画、発表しました。(参加 消費生活サポーター 27 人)

◇今年度は、佐渡市、南魚沼市、新潟市、長岡市の特別支援学校から啓発講座の依頼があり、サポーターの活動の場が広がっています。

新潟県における 高齢者等見守りネットワーク構築の取組

新潟県消費者行政課

本県では、高齢者の消費者被害を未然に防ぐ取組を県内全域で進めるため、平成29年12月21日に新潟県高齢者等消費者被害防止見守りネットワーク（新潟県消費者安全確保地域協議会）を設置しました。

消費者被害に遭う高齢者は「被害にあったことに気づかない」「気づいても恥ずかしくて相談しない」という特徴があります。

消費者安全確保地域協議会とは、このような高齢者のちょっとした変化に“気づき”、相談窓口“につなげ”、必要に応じてその後も地域で“見守ろう”という取組です。

現在、新潟県では平成28年11月に佐渡市が設置したのを始め、魚沼市、村上市、柏崎市、弥彦村がこの協議会を設置しており

ますが、県消費者安全確保地域協議会では県内各市町村で取組が進むよう、関係機関と連携し、より一層の支援を行っていきます。みんなで高齢者の消費者被害を防ぎましょう！

なお、2月15日の地方消費者フォーラム群馬大会で新潟県の取組について発表しました。



1/29 第1回県消費者安全確保地域協議会

「3R推進キャンペーン 県民フォーラム2017」報告

会長 長谷川かよ子

平成29年11月25日、新潟県主催の県民フォーラムがりゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館で開催されました。長年3Rに取り組んで来た新潟県消費者協会としては、有意義なフォーラムとなりました。

企業、消費者、行政の代表者がそれぞれの立場で事例発表を行い、消費者側では新潟県消費者協会の山崎和美会長が「発生抑制（Reduce）のための消費者活動」を紹介しました。

特別講演では、ハードオフコーポレーション社長の山本善政氏が「資源の循環で変わるビジネスの未来」と題して話され、パネルディスカッショ



各分野の貴重な意見が聞かれたパネルディスカッション

ンでは5人のパネリストの皆さん（ハードオフ、イオンリテール、新潟市消費者協会、佐渡市役所、またたびの家）とコーディネーター役の長谷川が環境に優しいビジネスについて意見を交わしました。

最後に、柔道家で環境問題についても活動されている篠原信一氏の「資源を大切に地球を守ろう！未来への一本」と題しての基調講演がありました。3R推進への貴重な学びの機会でした。

「平成30年度通常総会・記念講演会」開催のお知らせ

日時：平成30年4月24日（火）

通常総会：13:00～14:30

記念講演会：14:30～16:00

会場：新潟ユニゾンプラザ 4F 大研修室

記念講演会

「ハードオフ流こだわり経営とは

～リユース・リサイクルは地球環境に一番やさしいビジネス～」

講師 (株)ハードオフコーポレーション

代表取締役会長兼社長 山本善政 氏

活動テーマ **魅力ある消費者市民社会に向けて行動しよう！**

～安全・安心な生活を支える仲間を増やし、輪を広げよう～

私が見た海外の家庭生活

ホームステイ イン カナダ

柏崎市消費者協会 中村文子

平成 29 年 9 月、私は友達とカナダのバンクーバーでホームステイして来ました。バンクーバーは景色が良く、道路も碁盤の目でわかりやすく、住み心地のよい街でした。食に関する内容を中心に私の目で見えたカナダの生活を紹介します。

廃棄物 オーガニックの物は肥料

ゴミの収集は集合住宅の場合、地下などにコンテナを置いた集積場所があり、分別して入れます。基本的に生ゴミはオーガニックと呼び、肥料にリサイクルされます。植物から作られたペーパータオル・ナフキン・コーヒー・ティーフィルターも生ゴミとして捨てます。缶・ビン・紙・プラスチックはそれぞれ分別し資源となります。普通の一戸建て住宅は市が、集合住宅は業者が収集し建物の管理費から業者に支払うシステムです。



集合住宅の廃棄物収集場所

食品 無駄にしない習慣

バンクーバーのレストランでは持ち帰りは当たり前で、店側から必ず“持ち帰りますか”と聞かれます。ほとんどの人が持ち帰ります。私もレストランで食べ残したお料理を持ち帰りました。食品スーパーは野菜がきれいに並べられている店や、大量買いがお得な大型スーパー等様々な店があります。

フードバンクシステムは、ほとんど寄付で賄っています。協会または個人でやっている人もいます。食品ロス削減のためにも良い取り組みだと感じました。



レストランからの持ち帰り



マーケットの野菜売り場

生活 普段の生活にも工夫が

登録すればいつでも何度でもシェアできる自転車がいろいろな所に置いてあります。その設備のある所ならどこからでも乗り降り自由です。



シェア自転車の置き場

消費税は、GST 国税) 5%・PST (州税) 7%~ (州によって違う)。税は品物や食品によって掛かるものと、掛からないものがあります。



今回訪問したお宅は、集合住宅でひとり暮らしだったので、詳しく調べることができませんでした。バンクーバーは、一年位住んでみたいと思わせる美しい街でした。ステイ中に、アメリカのワシントン州の山火事の煙で、スモッグが発生した日もありました。

郷土の正月料理を 1 冊に

小千谷市消費者協会

小千谷市消費者協会では、今年度の一押し事業として平成 29 年 10 月に「おぢやのおせち」レシピ集を発行しました。

川井厚子会長は「平成 25 年の小千谷市市政施行 60 周年を機に正月料理に関する市民対象のアンケート調査を実施し、地元出身者の回答を基にレシピを興し、調理実習 (15 回、延べ 220 人参加) を重ね 4 年間の活動の集大成としてまとめる事ができました。北魚沼郡小千谷町時代からの先人たちの知恵を学び、食文化を継承してゆく資料として、今後も活用していきたいです」と語っています。

小千谷市総合産業会館「サンプラザ」の店頭でのみ販売 (1,080 円)

お問い合わせは 小千谷市消費者協会事務局 (0258-83-3516) へ



掲載の 1 品「こうじ漬け」

材料は大根・人参・身欠きにしん・数の子・ねせこうじ・酢・塩・酒
野菜は下漬け(2~3 日)、ニシンや数の子も下ごしらいをしてからねせこうじと合わせて、重しをする。3 日目位から食べられる。

エシカル消費って何？

毎日の買い物でちょっと考えてみませんか



「エシカル」とは、「倫理的・道徳的」という意味で、「エシカル消費」とは、人と社会、地域環境を考慮して作られた生産物や商品を積極的に購入、消費することです。

認知度はまだ低いですが、地産地消、オーガニック食品やリサイクル素材衣料などのエコ商品のグリーン購入、被災地復興・過疎地再生・障害者自立支援を目的にした商品の購入、賞味期限の近い食品を購入する食品ロス削減の行動やマイバッグ持参行動もエシカル消費です。また、児童労働など人権に配慮しない企業の商品を買わないという行動も含まれます。

買い物をするとき、価格や品質だけでなく、商品が誰によってどのように作られたのかを考えて、フェアトレード製品やエシカルファッションを選択する人も少しずつ増えています。私たち消費者は、日々の買い物を通じて社会に影響を与える力を持っていることを自覚し、人、地球、未来に優しい消費を考えましょう。
(編集委員 山本ヒサ)

身近なエシカル消費

フェアトレード製品

発展途上国では、農作物や製品が安く買い叩かれ、僅かな収入しか得られない人がたくさんいます。そんな生産者の生活向上を支えるために、消費者が商品を適正な価格で購入し続ける仕組みのことです。

私たちが自分の気に入った商品を購入することでできる、身近な国際協力の形です。日本でもコーヒー、紅茶やバナナなどが知られています。

エシカルファッション

環境保護、望ましい労働環境、貧困支援など、良識にかなって生産、流通されているファッションのことです。

例えば、いいなと思ったバッグを買うことが、それを作ったアフリカの女性たちに仕事と収入をもたらし、彼女たちの自立や生活向上につながります。買った人も「いい事をした」という納得感も得られ、満足度も上がります。

地産地消

地元で生産されたものを地元で消費することです。消費地が近いので、輸送時の防かび剤や防腐剤も不要で、輸送の際の Co2 排出量も減らすことで、地球温暖化防止にも役立ちます。



消費者トラブルキーワード

失敗しないスマホ選び

スマートフォン（以下スマホ）は、その場で様々な情報を得たり、買い物をしたり、孫の写真を送ってもらったり、シニアにとって暮らしが便利になる機能もたくさんあります。しかし、「携帯と違うので、うまく使いこなせるかな…」との不安もあり、スマホへの機種変更を迷っている方も多いと思います。どんな点に注意して選べばいいのか、ポイントを考えてみました。



使い道を確認しよう！

スマホは「持ち歩きができる電話機能付きパソコン」と考え、何がしたいのか自分に必要な機能を確認しましょう。

- ◆「メールと電話しか使わない」方は、本当に「スマホ」が必要か考える
- ◆携帯電話会社によっては、未経験者も参加できる無料のスマホ教室を開催しているので、講習を受けて使い方を試してから検討する
- 「家族割引」は各社とも割引率が高いサービスなので、契約する際は、家族がどの携帯会社か確認しておく

店頭で注意すること

準備不足で行くと、店側の売りたいスマホやサービスを勧められ、後悔することにもなりかねません。

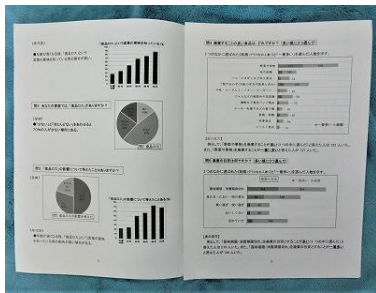
- ◆実際に手に取り、見やすく、使いやすい機種を選ぶ（表示が大きくアイコンは誤操作防止設定がある機種など）
- ◆聞きなれない用語が多く、説明時間も長いので、メモを取りながら、わからないところは何度でも質問する
- ◆付随する有料サービスの内容を確認し、不要なものは断り、無料で解約できる期間を確認する

食品ロスは年間約 600 万トン余り、その半分以上が家庭からの発生と言われています。この食品ロスの削減に当協会が取り組み始め 2 年になりました。各団体会員はどのように取り組んだのか、代表にお聞きしました。それぞれの団体の意欲的な取り組みを紹介します。紙面の都合上、掲載順は不同です。
(編集委員 桜井喜美子)

◆「食品ロス」アンケート実施し、行政とともに削減の方策を練り実行へ 佐渡市消費者協会

実態を把握するためアンケートを作り 300 人規模の調査をし、結果を印刷し公表（下写真）、また、少数ではありますが、17 店舗の事業所アンケートも実施しました。

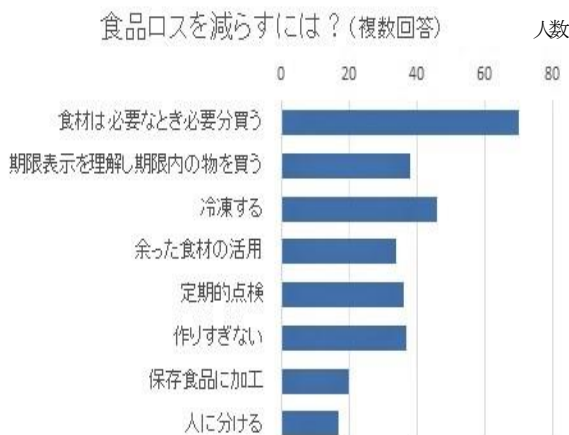
これらのことを踏まえて、行政からも全面的な協力をいただき、市民対象に映画「もったいない」の上映会や〔30・10 運動〕コースター（表紙写真参照）を作成し、市民への周知だけでなく島外へも発信すべく旅館組合、飲食店組



合、観光客を迎え入れる施設にも置いていただき使用をお願いしました。約 3 万枚配布済です。

◆市のイベントでアンケートや呼びかけ実施 小千谷市消費者協会

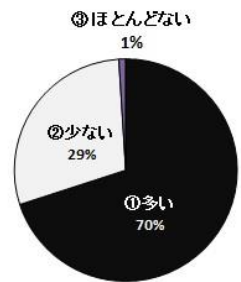
2 年続けて市のイベント会場で「食品ロスアンケート」を実施。同時に消費者庁の関係パンフレットも配布しました。ロスを減らす工夫もいろいろとやっていることがわかりましたが、さらに進めていきたいものです。



◆会員情報に毎回「食品ロス削減」の話題掲載 見附市消費者協会

アンケート調査を実施したら、家庭からの「食品ロス」が多いと答えた人が 7 割もいました（グラフ参照）。そこで、会員情報「お知らせ版」やお茶会等で「ロスの削減」を話題にしてほしいと呼びかけています。

また、〔30・10 運動〕については、30 分は長すぎと思うので、〔20・10 運動〕にしています。



参考〔30・10 運動〕とは
松本市が提唱を始めた「残さず食べよう！ 30・10（さんまるいちまる）運動」のこと。宴会などでは乾杯後 30 分間は席を立たず料理を楽しもう。お開き前 10 分間は自分の席に戻って、再度料理を楽しもう等という意味が込められている。

◆講座と映画で市民へ啓発 長岡市消費者協会

平成 28 年に〔30・10 運動〕を知り役員会で報告し新年会で実践しました。また、年度末には講座「食品ロス削減とフードバンクの活動について」、映画「もったいない」を上映、フードドライブも同時に開催しました。



フードドライブはその後も総会や中古衣料チャリティー即売会でも実施しています。

◆映画と講演会で「もったいない」を高揚 魚沼市消費者協会

年 1 回の「特ダネ講座」で、映画「もったいない」を上映、合わせて北里大学の先生からも講義を受けました。衝撃的な映画を見て食品ロス削減への意識を再確認しました。

◆地域の関係者と「食品ロス削減」懇談会

十日町市消費者協会

映画「もったいない」を上映しました。(南魚沼消費者協会の方々も参加)さらに地域の商店や関係者の方々の協力も不可欠と懇談会も開催。互いに意見・要望を出し合いました。賛助会員の方々も参加する新年会には「30・10運動」を実践しました。



◆会員への通信で食品ロス削減の呼び掛け

柏崎市消費者協会

当協会発行の「協会だより」に推進の記事を掲載、呼び掛けました。また、新潟産業大学の学生に対して「食品ロス削減」のアンケートを実施しました。

集計結果で、廃棄の目安を気になる順に3つ選んでもらったところ、多くの学生が2番目に期限表示をあげていました(右表)ので、今後は、賞味期限切れでも食べられることを啓発していきたいと思っています。

廃棄の目安はなんですか？	
見た目、色・においの変化	97%
賞味期限・消費期限切れ	90%
カビの発生	63%

◆条例が施行され市民全体の意識改革へ

村上市消費者協会

村上市では平成29年4月乾杯条例ができ第8条(食品廃棄物の削減)が盛り込まれました。協会では6月に議会事務局に依頼してこの条例の学習会を役員対象に実施しました。7月は「食ロスを考える講座」で映画「JUST EAT IT」上映会とフードライブを同時開催し、会員、市民、議会関係者の協力がありました。8月は会員の研修旅行で長岡市の生ごみバイオガス発電所の視察を実施し(写真)、最先端の技術に感動しました。1月の新年研修では高校生が考案した地元食材再利用(市茶業組合協力)「茶殻レシピ3種」の調理実習をしました。



◆まずは会員の意思統一

新発田市消費者協会

設立したばかりの協会なので、まずは食事会や普段の食生活でもったない意識の向上を家族、友人、知人に声を掛けるよう会員に発信しました。来年は一步前進した活動をして行きたいと思っています。

◆市の委託事業で「食品ロス削減」を取り上げ、アンケート調査と啓発講座開催

新潟市消費者協会新潟支部・新津支部・巻支部・白根支部・豊栄支部

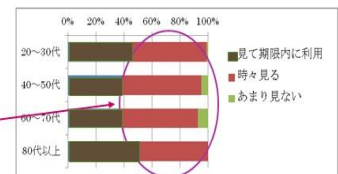
新潟市委託事業として食品ロス問題に取り組みました。28年度は市民にアンケートを行い、実情を把握しました。それによると、賞味期限や消費期限の活用に少し問題があることがわかりました。



そこで29年度

は、表示の賢い活用法や無駄のない食品の利用法の講座(写真)をすることとし、5支部の地域と専門学校・短大を含む7か所で実施しました。各支部では「30・10運動」やイベントでの呼びかけ等もしました。

Q6. 購入した食品の保管・管理のために消費期限・賞味期限を活用していますか？



▶あまり活用していない

作って
みませんか!

ベジブロスで野菜くずを使い切り健康にないませんか

- 1 材料 野菜くず 200g (野菜や果物の皮やヘタ、種、葉、根など何でも可)
- 2 作り方 野菜くずを水で洗い、鍋に1,000ccの水とともに強火で煮、煮立ってきたら弱火にして、30分位煮る。・ざるで漉す。
- 3 使い方 味噌汁やスープ、シチューなどのだし汁のかわりにする。
- 4 保存の仕方
すぐに使わないときはフリーザーパックに入れ冷蔵庫や冷凍庫に(冷凍の場合は小分けにして)入れる。(編集委員 山本ヒサ)



ベジブロスとは

野菜の皮やヘタなどに含まれる旨み成分と栄養素をまとめて煮出すだしのこと。この中には最近注目される抗酸化力、免疫力アップに役立つ成分が含まれています。

《現場を見せて！》

安全・安心な近くの電気屋の組織 新潟県電機商業組合

連絡先 新潟市中央区弁天3丁目3-5
新潟マンション418号 TEL025-247-7847



お話を伺った
(左)渡辺事務局長と(右)山口副会長



新潟県電機商業組合は、昭和37年8月に電気機器小売業を営む地域電気店の組合として組織されました。全県をカバーできる組合として、行政と協力した地域貢献、災害時の支援、特殊詐欺防止モニター事業への協力、高齢者宅無料点検訪問などの活動をしています。現在は上越、中越、下越、佐渡の4ブロック33支部に538店が加入しています。毎日使う家電製品が壊れてしまったときほど不便で心細いものはありません。そんな時すぐ来てくれるこの組合の方々には、地域で安全・安心な暮らしを守る大切なパートナーです。当協会の賛助会員である新潟県電機商業組合を取材し、その活動を中心にお聞きしました。

地域貢献に取り組む活動紹介

高齢者宅の電化製品無料点検訪問

地域に密着しているのので、量販店ではなかなかできない手間、暇をかけてお客さんと接することができます。特に高齢者やひとり暮らしの方へは安全チェックシートやポスターを配り、手の届かない高い所の電気製品の修理、点検をして感謝されています。



高齢者宅でエアコンの点検



テレビの映りを調整

省エネ活動 国の「2030年までに温室効果ガスを2013年度比で26%削減」という目標に向かって家電部門においてはCO2排出量を現在より約40%削減しなければなりません。県と協力して省エネ主力家電(エアコン、冷蔵庫、LED照明など)の買い替えキャンペーンを推進しています。

地域貢献できる人材育成 地域電気店の強みをさらに生かすため、住まいの快適さの向上、商品情報の提供、さらに近年では高齢者介護に至るまでの知識が必要です。電気、ガス、通信、リフォーム、水道工事等に係わる様々な知識・資格を習得し、地域に貢献できるような人材育成に力を入れています。



事故防止に便利です！



東区にある山口副理事長の店

取材させていただいた山口副理事長のお店は広い店構えと明るい店内、感じのいい応対に、困ってやって来るお客さんに安心感を与えておりました。話題の多くが高齢者やひとり暮らしの方への無料訪問サービスでした。一步誤ると重大な事故になりかねないそれを事前に食い止めるために、訪問し点検するという組合員の活動に敬意を表します。家電品が使って当たり前という生活を再度見直す機会となりました。(編集委員 藤田純子 小林 諒 桜井喜美子)

編集後記

毎回、企画会議で私が考えることは、会員の皆さんが今必要とする話題・知識は何か、ということでした。そして、どんな紙面づくりをしたら手に取って全部読んでいただけるかでした。そんな気持ちは伝わりましたでしょうか……。編集作業は厳しくも楽しいものでしたが、各団体代表の方々にはいつも大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。(編集委員 桜井喜美子)